

照明に関する高度な個別ニーズに対応する 「専門市場件名推進部」「特注品推進部」の具現化力とは

ライティング事業部には、標準品では対応できないお客様のニーズにお応えする専門の部署があります。今回は、「複合天井システム」「トンネル・低位置照明」を扱う「専門市場件名推進部」と、特注品を扱う「特注品推進部」についてご紹介します。専門性の高い領域を担う部門であり、新たな体制のもとで市場提案の強化を推進しています。現場で培ってきた知見を次世代につなぎながら、社会インフラやオフィス空間、地域のシンボルづくりにご提供する当社の価値をご紹介します。

パナソニック エレクトリックワークス株式会社 ライティング事業部 プロフェッショナルライティングBU



専門市場件名推進部
多田



専門市場件名推進部
複合天井システム推進課 田中



特注品推進部
件名推進課 菅原

新体制で高める 専門市場部門と特注品部門の連携力

2026年4月から、ライティング事業部のプロフェッショナルライティングBU内で、専門市場件名推進部と特注品推進部が並列する新体制がスタートしました。どちらの部門も、出発点はお客様や現場のご要望を形にすることです。「この空間に合うオリジナル器具をつくりたい」「既設器具と同じものが欲しい」「標準品にはない特別な光の演出がしたい」といったご要望を受け止め、設計・開発を行うことを命題としています。標準品ベースの商品から、デザイン性の高いオンリーワンの器具、既設器具と同じ性能の再現まで、現場のニーズを丁寧に聞き取る傾聴力と、それを実現する具現化力が当社の強みです。関係部門との連携の軸となり、よりスピーディかつ満足度の高いお客様対応を目指します。

オフィスの未来を見据える 可変性を備えたシステム天井

私どものBUで扱う製品のひとつに、天井を構成する部材を工場で作くり、現場で組み立てる「システム天井」があります。在来天井のように現場で切り貼りして仕上げるのではなく、一定のモジュールで構成されているため施工性が高く、レイアウト変更や改修にも対応しやすい工法として普及つつあります。都心部の大規模なオフィスビルでは広く採用される一方、地方や中小規模のビルでは、まだまだ

在来天井が主流です。入居者のニーズに合わせてレイアウトを変更しやすいことは、退去時の原状回復のしやすさや、廃材の削減にもつながります。

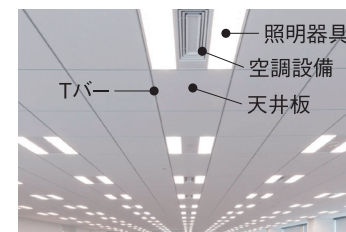
改修のしやすさは、地方の中小ビルにとっても、テナント誘致や建物の競争力向上を後押しします。さらに、消費電力を抑えたシステム天井用照明器具を多数そろえているため、ビルの価値を高めるZEB化を進めやすい点も利点となります。

昨今オフィスの役割は、人が交流し、創造を促す場所へと変わりつつあります。フリーアドレスやハイブリッドワークが広がる中で、天井や照明にも、空間の使い方に合わせて変えられる柔軟性が求められています。そうした流れの中で進めているのが、株式会社三菱地所設計様との協業による新しい提案です。国産木材を使った「国産木材格子ルーバー」とシステム天井、照明を組み合わせ、意匠性だけでなく、木の温かみによるウェルビーイングや環境配慮にも応える空間づくりを目指しています。国産木材格子ルーバーに限らず新たな商品の拡充も進めており、パナソニックの広い商品群と組み合わせて空間まるごとの提案を行っています。

作業者の負担を減らし、安全を支える トンネル照明のGame Changerに

高速道路のトンネル照明や低位置照明は、安全を守るインフラであると同時に、保全維持管理のしやすさも強く

パナソニックのシステム天井の特長



「Tバー」と呼ばれる部材の上に「天井板」「照明器具」「空調設備」などを配置して施工する天井です。省施工・短工期でオフィスの快適な天井空間づくりをサポートします。



株式会社三菱地所設計様と共同開発した「国産木材格子ルーバー」。システム天井に対応した照明と組み合わせて使用することで、空間用途に適した光環境を提供。ウェルビーイングを重視した新しいオフィス需要などに、木質感のある天井意匠をご提案します。

求められます。メンテナンスの省力化や安全面の向上、人手不足解消などに有効な低位置照明は、壁面の高所（位置）灯に代わる照明として需要が急成長すると共に、配光制御の技術も大きく向上し、今後成長が見込まれているテーマです。その中でも、低位置からトンネル内を均一に照らす光の技術を開発し、安全性と視認性を高いレベルで両立。高速道路のトンネル照明の光環境を次世代へと進化させます。

一方で現在の大きな需要として、既設トンネル灯の本体を流用したLED化があります。高所や限られた空間で器具を扱う電気工事業者様にとって、持ち運びや取り付けの負担が減ることは、安全性や作業効率に直結します。さらに、交換作業を短時間で済ませられれば、車線規制の時間を減らすことにもつながります。コンパクト化と軽量を実現したLED内器ユニットでお客様の効率性も高めていきます。

“おらが町のシンボル”をつくる 代えの効かないパートナーとして

特注品対応の魅力は、標準品では応えきれないお客様のニーズを形にできることにあります。たとえば、建築家の意匠をそのままに従来光源のLED化を希望される美術館や庁舎、空間演出が求められる商業施設、地域の人々が集まるホールや球場など、その場所ならではの条件や思いに、特注品という形でお応えしてきました。

一例をあげますと、福岡市民ホールでは、多様な照明演出に対応するため、超狭角からワイド配光まで制御可能なレンズや構造を工夫した特注のスポットライトを開発しました。

八戸市視聴覚センター児童科学館のプラネタリウム改修では、「新しい照明演出をしたい」というご要望から、

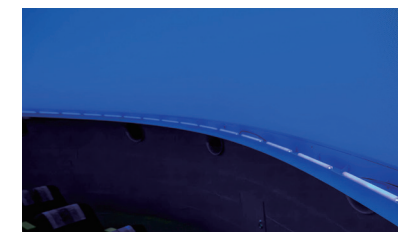
特注対応件名の一例

福岡市民ホール



難しいとされる舞台照明常設器具のオールLED化を実現。特注対応にて超狭角のスポットライトを導入。

八戸市視聴覚センター児童科学館



プラネタリウムの空間の曲面に沿って設置できるように、L600の器具中央部を、配線を接続したまま切り離し、曲げられる構造へ加工。

演出用建築化照明器具「LED客席シームレス」を青色へカスタマイズ。曲面に沿わせるための分割構造や、光の途切れを抑える工夫などを盛り込みました。

地域のシンボルとなる特注案件は、電気工事会社様や代理店様、各営業所にとっても大きな意味を持つと考えています。自身が関わった照明や設備が街に残り、家族や地域の人々に「自分が手がけた」と誇りをもって話すことができ、仕事のモチベーションアップにもつながります。

また、多くの電気工事会社様と同様に、当部署でも若手への技術継承が大きなテーマとなっています。お客様の本質的なご要望を汲み取る力を育てていくため、ベテランと若手がバディを組み、共に現場に出て課題に向き合います。効率化や自動化が進む一方で、あえて現場対応の機会を増やすことが、次世代での具現化力を育てる近道になると考えています。

電気工事会社様や設計士様には、標準品では難しい場合も諦めず、まずはパナソニックにご相談いただければと思います。実現したい照明光、守りたい意匠、現場でのお困りごとを丁寧に伺い、共に考えていければと思います。電気工事会社の皆さまのお役に立てそうな案件がございましたら、ぜひお気軽にお声がけいただければと思います。